

1 検討目的・概要

文化・スポーツ行政は、にぎわい創造、観光、まちづくり、国際交流、健康福祉等、様々な分野と連携し総合的に推進していくことで、多様化する社会課題の解決や市の施策全体への相乗効果が期待できることから、**本市の文化・スポーツ政策における「目指す方向性」を共有し、「方向性に基づいた組織体制の在り方」について検討する。**

2 検討の方向性

目指す方向性(案)

1 市民の文化・スポーツ活動の充実

- ・青少年の文化・スポーツに取り組む地域の環境づくり
- ・トップアスリート等との連携・交流の推進
- ・個人や団体の活動支援や発表の場の提供
- ・心身の健康の保持・推進

2 文化スポーツ施設の整備充実

- ・市民に身近なスポーツ施設の整備・充実
- ・大規模イベントやプロスポーツ誘致実現の基盤となるスタジアム・アリーナ等大型集客施設の整備
- ・商業・娯楽・福祉・防災等の施設複合化による地域活性化の創出
- ・財政負担の軽減や収益性の確保等、民間活力の積極的な導入

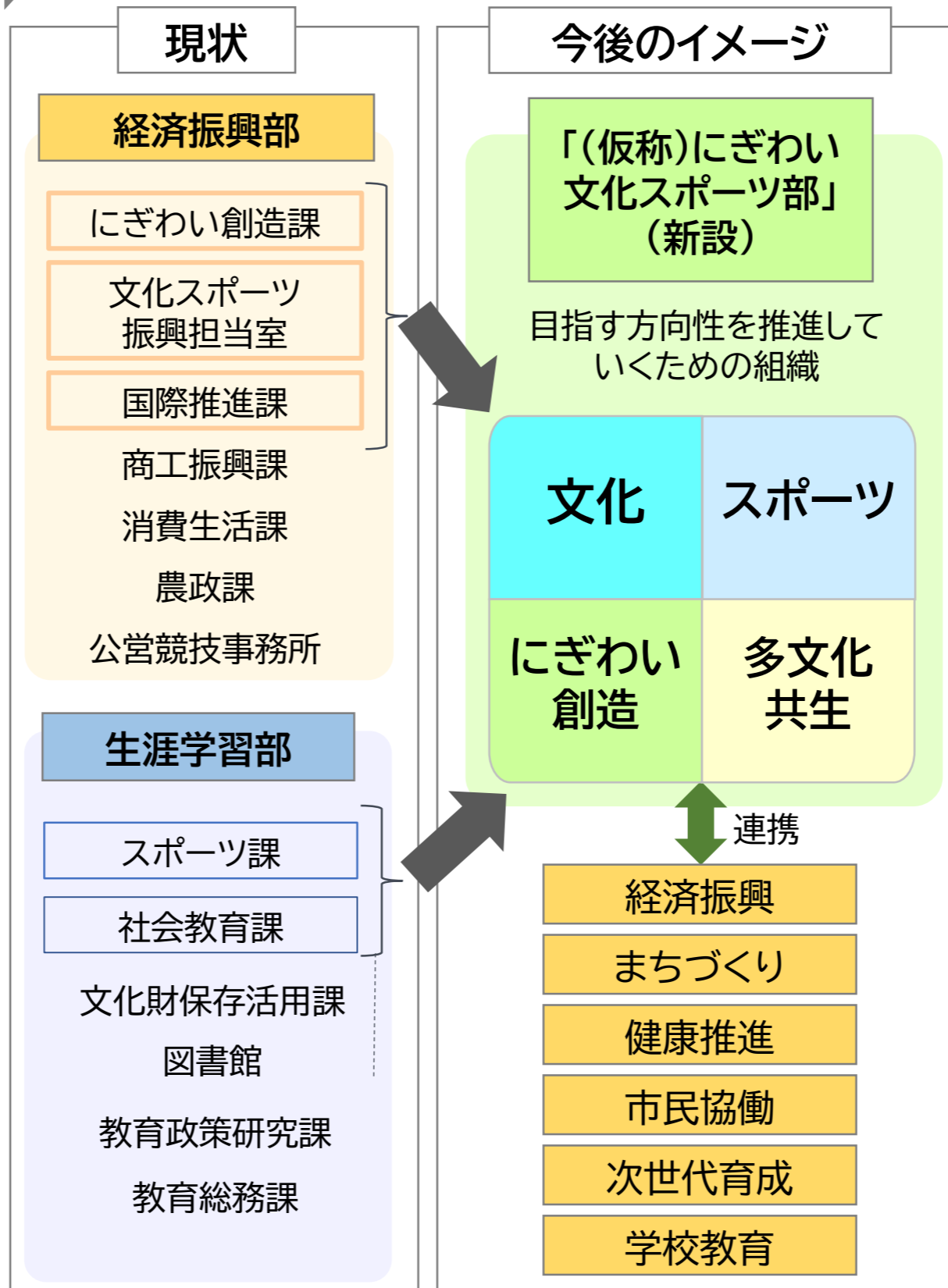
3 文化スポーツを通じたにぎわい創造

- ・文化・スポーツの大規模イベントの開催・誘致を通じた地域経済の活性化
- ・プロスポーツチームの誘致

4 文化スポーツを通じた多文化共生の推進

- ・文化・スポーツを通じた国際交流の推進
- ・文化・スポーツを通じたインクルーシブ社会形成に向けた理解促進

新たな組織のイメージ(案)



課題例

1 持続可能な活動推進に向けた体制構築

- ・社会教育団体(文化・スポーツ団体含む)と市民活動団体との相互連携や一元管理
- ・施設の管理運営の担い手、外郭団体の統合・整理等の検討
- ・多様な主体の参画による部活動の地域移行の推進

2 文化スポーツ施設の整備

- ・施設の老朽化・施設更新の必要性
 - 文化施設(図書館、市民会館、文化会館等)
 - スポーツ施設(運動公園、体育館等)
- ・子ども・若者・子育て世代への魅力ある環境の整備
- ・スポーツを「みる」「楽しむ」ための大型集客施設の整備検討
- ・プロスポーツチーム誘致による民間企業との連携
- ・市内候補地のリストアップ、調整区域の活用